

High♥Line Wakabayashi はいらいん若林

みんなてここさ

入らいん!

若林区まちづくり協議会会報

2001.09.15 Vol.

4

ひびけ若林の空に!

とどけみんなの心に!

「若林区合唱のつどい開催！」

7月7日、若林区文化センターで第8回若林区合唱のつどいが開催されました。「予報では雨」という関係者の心配をよそに、当日は天候に恵まれ、多くの方が来場しました。

参加団体は小学生から一般までの22団体。合唱祭としては珍しく、途中でブラスバンド演奏や合唱とブラスバンドの共演が楽しめました。なかには、蛙の飾りを頭につけ、客席を沸かせる「コマも。今年も、この日のために一般区民からメンバーを公募したわかばやし区民合唱団が出演しました。その名も「宙(そら)」。120名を超える方々が呼びかけに応じて、6月から練習を繰り返してきました。



蛙の唄が聞こえてきそう?!

宙(そら)に参加した六郷小学校4年生の渡辺未宇さんに感想を聞きました。「お母さんから勧められて参加しました。」



子供から大人まで。「宙(そら)」の歌声が響く

6月の練習には、4回行きました。遊びに行けないのが残念だったけれど、練習に行つて友達もできました。文化センターホールくらいの大きな場所で歌うのは初めてだったのでちよつと緊張しました。」

「手づくりの温かさ」

他の皆さんはいかがだったでしょうか。

合唱のつどいは合唱のつどい実行委員会(委員長:阿部勝彦氏)の手づくりのイベントだそうです。委員の皆さんがボランティアで、昨年10月から開催に向けて打合せを始めていたとのこと。

準備風景を覗いてみると、パンフレット作り、ちらし作り、アトラクションの企画・構想、参加団体への説明会などに尽力。当日の舞台裏では、聖ウルスラ高校と仙台東高校の女生徒や仙台一高の生徒が会場設営の準備や、進行の手伝いを一所懸命に行っていました。

取材をして、特に印象に残ったのはイベント終了時、最後のステージに立ったわかばやし区民合唱団の皆さんがエンディングコーラス終了後、観客のいなくなった会場内のゴミを拾いながら退場していきました。手作りのイベントの温



アトラクションの構想は膨らむ

かさを実感した一幕でした。

会報の愛称

「はいらいん若林」とは

仙台弁の「入らいん(お入りください)」に英語のhigh(ハイ・高い)とline(ライン・路線、進路、などの意)とをかさねあわせた造語です。温かさより高いレベルをめざそうという気持ちが込められています。

若林区 大会旗・炬火リレー

炬火リレー隊は、区内から選ばれた方々です。毎日道端で顔を合わせているあの人が、さっそうと走っているかも知れません。沿道での応援をよろしくお願いします。



リレー走者に聞く
その2
出雲 幸五郎 さん
荒町の幸洋堂店主
出雲幸五郎さんが走ります。

出雲さん
70歳を迎えました。坂道や旗を持って走ることに不安はありますが、練習も週に1、2度してまじし、沿道の皆さんの声援があれば完走できると思います。ユニフォーム姿は少し心配ですが、国体が荒町の町おこしのきっかけになればと思います。

シャトルバスが走ります!
馬術競技を見に行くには、シャトルバスがお薦め。期間中、乗車無料のシャトルバスが運行されます。勾当台公園市民広場、仙台駅前(カラオケマンモスの道路向かい側)、河原町バス停、若林小学校前バス停、横堤バス停から乗れます。気楽に乗って、気楽に観戦! 詳しくは下記のお問い合わせ先へ。

バスケットボール予選大会も
馬術競技と同時期にバスケットボール予選大会も開催されます。勤労者体育館も会場の1つ。ハイレベルな対戦を身近に見るチャンスです。
■期間 10/14(日)・15(月)

国体についてのお問い合わせ
新世紀・みやぎ国体
仙台市実行委員会事務局 TEL214-8847



2001 第56回国民体育大会 新世紀●みやぎ国体

半世紀に1度の国体が今年宮城県にやってきました。若林区でも大会旗・炬火リレーと馬術競技等がそれぞれ開催されます。
大会旗・炬火リレーは10月7日(日)に、馬術競技は10月14日(日)から開催されます。

馬術競技

馬術競技には大別して馬場馬術競技と障害飛越競技と両方を備えた総合馬術競技とがあります。

リハーサル大会に行ってきました!

6月9日(土)朝霧の中行われた馬術競技のリハーサル大会に行ってきました。競技場の周りの出店では焼きそばや笹かまが売られ、休憩所では飲み物がいただけました。馬術競技場は葦の柵で隔てられて2つの競技場がありました。障害飛越と馬場馬術とで使われるものだそうです。試合は、「人馬一体」の言葉とおりの優雅な動きに感心してしまいました。後は本番での楽しみということで。馬の目って実に優しい感じの目をしています。これだけでも見る価値ありっていったら選手に失礼かな。(す)

スタート

若林区役所
10月7日(日)
10:50

「炬火」って何?

炬火とは「たいまつ」と「ガガリ火」の意味です。オリンピックと違って、アテネの神殿で採火されるものではないので「聖火」とは呼ばずに「炬火(きょか)」と呼びます。



ゴール

若林市民センター
14:13

頑張りました!

国体馬術競技を地域でくりに活かそう

国体馬術競技が若林区で行われることで、馬について再認識する機会を与えられました。馬と人とのふれあいを、新しい形で若林区に取り戻すことを考えてみました。スポーツだけではなく、馬とふれあうことによる癒し(アニマルセラピー)などの活用が出来ます。馬術場や農業園芸センターに、ポニーや乗馬が出来る馬を配置することが出来れば、気軽に馬に親しめ、若林区民が馬と共に居ることを喜びとするような環境づくりが可能になります。



障害飛越競技
障害飛越競技は、文字通り障害を飛越する競技です。数百キログラムの馬が次々と障害を飛び越えていく雄大さはまさに壮観!

馬場馬術競技
馬場馬術競技は、一時期の体操の床運動に似ている、規定の演技と自由演技を行い、人馬一体の優美・芸術性を競います。その優雅さは、まるでバレエでも見ているかのよう。



国体馬術会場

海岸公園馬術場
若林区井土字沼向1
10月14日(日)~18日(木)
午前8時頃から
詳しくは左下の問い合わせ先へ

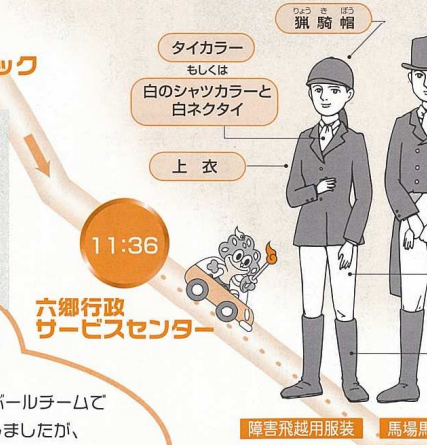
馬の今昔物語

昭和30年頃までは南小泉でも馬を飼っている家が結構ありました。農耕用の馬で、今回の馬術競技用の馬と比べるともっと足の太い、力のある馬でした。農家の貴重な労働力として大切にされ、馬糞を肥料に使ったり、生活に密着した存在でした。(南小泉在住S氏)



リレー走者に聞く
その1
鎌田 真寿 君
沖野小学校6年の鎌田真寿(まさとし)君。鎌田君はバレーボールの全国大会に出場するほどのスポーツマンです。

鎌田君
町内会から募集が来たので、バレーボールチームで応募しました。3年生の弟も応募しましたが、5、6年生を優先するとのこと僕が選ばれました。家族は「頑張っってね!」と温かく応援してくれます。バレーボールをやっているのて体力には自信があります。



*大会旗・炬火リレーの時間帯は予定ですので、多少変わることがあります。

地域のおまつり紹介

五十人町伊達八幡神社祭典



「とすけ」とは「くじ引き」のこと

以前は4月15日に本祭りをしており、その頃は多くの子供達が子供神輿を担いで宮城野原まで繰り出したといわれています。その後約40年間は、5月4日に宵祭り(熊野堂

4日の本祭りでは、子供や青年が神輿を担ぎ、模擬店では地域のお父さんやお母さんが綿菓子や焼鳥、焼きそば、玉こんにゃく作り、「とすけ」の模擬店も出て、日がな子供達の楽しむ声が聞かれました。



のぼりがはためく五十人町伊達八幡神社



おいしそうな焼きそば

五十人町伊達八幡神社は若林区五十人町と古くからの東街道との交差点にある神社です。ここでは毎年5月に五十人町伊達八幡神社祭典というお祭りが開かれています。今年には3日に宵祭り、4日に本祭りが行われました。

でも参加しやすいようにと準備や後片付けの日程を考慮して5月3日、4日に開催日を移動するなど、いろいろな工夫をしているとのこと。お祭りに参加した親の方からは、

子供を身近に見守っていられる安心感があるとの声が聞かれました。大きなお祭りにはない良さを味わいたい方、来年の5月は要チェック。

活気ある祭りを取り戻そうと、10年前から町内の有志と子供会育成会の親達が模擬店を始めたり、ここ3年はサラリーマン

でも参加しやすいようにと準備や後片付けの日程を考慮して5月3日、4日に開催日を移動するなど、いろいろな工夫をしているとのこと。お祭りに参加した親の方からは、

のお神楽十三演目を奉納)、5月5日に本祭り、神輿行列、夜の演芸(子ども演芸と踊り、のど自慢大会、民謡、レクダンス)などを行い、屋台も露天商が5、6軒出店していたといわれています。しかし、次第に神輿と演芸の時間帯を除いて客足が遠のき、お神楽の時間には見物客が数人という淋しい状況になった時期があったそうです。

熊さん、 とんだ笠地蔵 の巻



熊さん (しみじみと) 御隠居、現代の笠地蔵ってあるんですね。おいら驚きましたよ。

御隠居 こりやまた、どうしたってんだい、熊。狐にっままれたような顔しちゃって。

熊さん いえね、昨日の夕方に、あつしが仕事を終えて家に帰っていたときでさあ。道端に、コケがむしてくたびれたお地蔵さんが目につきましてね。いたたまれなくて拭いてやったんですあ。

御隠居 それはいいことをしましたね。お前さんも随分と大人になったもんだ。

それで、なにかい。そのお地蔵さんが、お礼の品々を持ってお前さんの家に現れたってのかい？

熊さん さすが御隠居、話が早い。今朝のことなんです。あつしがまだ布団に入っているとき、家の前にトラックが来て、ゴトツと何かを置いていく音がしたんでさあ。「もしや」と思っ

て扉を開けると、家の前に大きな冷蔵庫が。御隠居 冷蔵庫!?

熊さん へい、冷蔵庫。こりやまた粋な地蔵だなんて...。御隠居 やれやれ。お前さんも長生きするよ。そりやお前さん、「不法投棄」というやつだよ。トラックに乗る地蔵さんなんて聞いたことないよ。

・コミについて、身近にある困った話や再利用のアイデアを募集します。下記まで郵送又は E-mailにてお寄せください

編集後記

▶ 今回の特集では、47年に1度行われるみやぎ国体ということでリハーサル大会を終えた関係者の方に集まっていたいただき、お話を伺いました。ぜひ成功させたいという皆さんの思いがひしひしと伝わってまいりました。そしてそれは私達も同じ気持ちです。

この会報は私達が編集委員として参加する最後のものとなりました。ほんとうに勉強になりました。ありがとうございました。(猪・小)

会報プロジェクトメンバー

リーダー 勝又 久雄/猪俣 典子
西條 芳郎/小野寺 民枝
菅井 てるみ/菅井 恭子
師岡 優子/斎野 明子
和野 勝